

神戸市・相楽園のクロマダラソテツジミ 2018 – 2019

浅田 卓¹⁾

はじめに

神戸市中央区の相楽園におけるクロマダラソテツジミ *Chilades pandava* については、2016年に調査し、きべりはむしで報告した(浅田, 2017)。その後、発生を確認できなかった2017年を除き、2018, 2019年と続けて調査した結果、同地での継続した発生を確認したので報告する。

1. 2016年の調査結果から

相楽園は兵庫県庁舎北側に位置する日本庭園で、70株を超えるソテツが群植された蘇鉄園と銘打った区画があり、2016年は9月下旬から1月初旬までクロマダラ



図1 カタバミに訪花する低温期型個体 (2018年11月21日)。



図2 羽化不全の個体 (2018年10月17日)。

ソテツジミの生息状況調査を行った。60頭を超える成虫を採集・観察し、調査当初より数株のソテツに食痕が認められたが、当年度のものとは断定できず、同地での発生を結論付けられなかった。

2. 2018年の調査結果から

2018年に採集・目撃した成虫は45頭であった(図1, 表1)。8月初旬には発生の兆候がなく、本格的に調査開始した期間を2016年(9月27日~採集・目撃64頭)と比較すると、個体数はやや少なかった。

特筆すべきなのは10月17日に採集した高温期型♂の羽化不全個体(図2)で、全く飛ばずに地上に静止していた。他地域からの移動個体とは考えられず、相楽園で羽化した個体がいるという証明になった。また、正常な個体にも新鮮で羽化後間もないと思われる成虫が多数確認できた。

表1 2018年の採集・目撃数(採集数欄の()は小型個体で内数, 気温は神戸海洋気象台資料による神戸市中央区のデータ)。

調査日	高温期型		低温期型		不明 目撃	気温℃ 神戸・13時
	♂	♀	♂	♀		
9月26日						24.5
10月2日	5	1				23
10月9日	2	1				25.3
10月17日	3	2				21.8
10月24日	4					22.4
10月30日	2(1)		1		10	19.2
11月6日	1		1	1	5	21.6
11月13日						17.5
11月20日	1			1		15.3
11月21日				1		14
11月27日		1(1)			2	17.1
12月4日						21.7
12月10日						8.2
計	18(1)	5(1)	2	3	17	

¹⁾ Takashi ASADA 兵庫昆虫同好会

表2 2019年の採集・目撃数(採集数欄の()は小型個体内数, 10+は10頭以上).

調査日	高温期型		低温期型		不明 目撃	気温℃ 神戸・13時
	♂	♀	♂	♀		
9月2日	3	1			10+	30.7
9月3日	12(2)	3(1)			10+	30.1
9月4日	5(2)	2(1)			10+	31.9
9月10日	2(1)	2(1)			8	31.1
9月11日	2(1)	2			3	32.4
9月18日	3	2(1)			10+	28
9月25日	2(1)	2			10	27.3
10月2日	1(1)	1			10+	27.6
10月9日	1	1(1)			6	23.6
10月15日					10	20.9
10月23日		1(1)			4	22.7
10月31日	1		3(1)		3	20.8
11月4日			3	1(1)	3	16.5
11月11日			1			18.7
11月18日	1(1)					21.8
計	33(9)	16(6)	7(1)	1(1)	97+	



図3 ソテツ葉上に静止する高温期型個体(2019年9月3日).

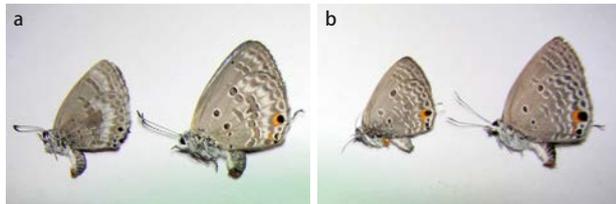


図4 a, 低温期型の個体変異; b, 高温期型の個体変異.



図5 従来型のソテツ頂部にある食痕(2019年).

3. 2019年の調査結果から

8月中旬に10km離れた神戸市須磨区の市立須磨離宮公園で発生確認という情報を得て, 9月初旬に蘇鉄園調査を開始した(図3). 初日から3日間の調査で30頭近く採集し, その他飛翔個体も多数目撃できる等, 発生はピークと思われた. まだ調査途中ではあるが, 11月中旬までに採集57頭, 目撃は延べ100頭近くに達する等, 過去3年で最も多かった(表2).

2018年と同じく新鮮な個体も確認できたが, 今年の特徴として前翅長13mm以下の小型個体が前年より多く確認された(図4).

ソテツ被害は, 2016年に確認したものと同じく株頂部の新芽食痕が1箇所あったが(図5), 今年の特徴として, 株根元の萌芽に数箇所(図6)の食痕が認められた. どの株根元も新葉が少ないため, 今年小型個体が多く見られた原因の一つと推察することもできる. また, ♂が株上で占有行動を示して飛び回るのに対し, ♀が地上を低く飛び, 株根元に潜り込む行動が度々見られたが, 産卵までは確認できていない.

表3 低温期型の初見日と気温.

年	2016	2018	2019
初見日	10月24日	10月30日	10月31日
調査時気温	21.8℃	19.2℃	20.8℃

4. 2016 - 2019年の調査結果から

3年の調査結果から, 低温期型成虫の初見日は表3の通りであり, 10月下旬に気温が20℃前後に下がると成虫を確認できた. しかし, 蛹の抜け殻は確認できず, 11月には高温期型, 低温期型の混飛が見られる等, 両型ともに蛹化時期等の生活史が未確認のため, 今後も調査を続けたい.

参考文献

浅田 卓, 2017. 神戸市・相楽園で発生したクロマダラソテツジミ. きべりはむし, 39 (2) : 69-70.



図6 ソテツ株根元にある萌芽の食痕 (2019年).